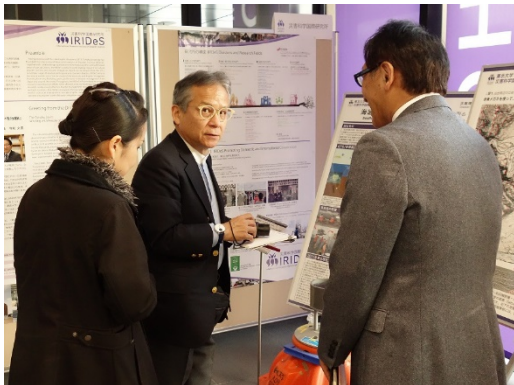


MIT メディアラボ石井裕副所長が災害科学国際研究所を訪問されました(2018/12/3)

テーマ：東日本大震災、災害研究、歴史保存
場所：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市青葉区）

2018年12月3日（月）、マサチューセッツ工科大学（MIT）メディアラボ副所長の石井裕教授が災害科学国際研究所（IRIDeS）を訪問され、今村文彦所長による研究所紹介、蝦名裕一准教授（人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野）による研究活動紹介を行いました。

今村所長は IRIDeS1F 展示スペースさらには多目的ホールにて、当研究所の設立経緯や、災害対応サイクルに沿った IRIDeS の様々な研究・実践活動を紹介しました。続いて蝦名准教授は、研究室において、歴史資料の保全や文理融合型の歴史災害研究について説明を行いました。石井教授は、災害研究の諸方面に興味を持たれて終始熱心に質問され、AI の時代においても危機管理や災害情報・シミュレーションは今度とも世界で重要であり、今回紹介いただいた新しい研究は大変に関心があると述べられ、今後の災害研究方向性に対するご意見やコメントをされました。IRIDeS 側も、刺激と気づきの機会をいただくことができ、有意義な時間となりました。



今村所長による概要説明



今村所長による津波堆積物はぎとりの説明



蝦名准教授による歴史研究の説明



大隅典子副学長らと記念撮影

文責：中鉢奈津子（広報室）